

2022 年度渡り鳥保全調査事業報告

－福井県指定鳥獣保護区の鳥類相－

福井県自然保護センター*1

要旨：2022 年度に、福井県内の 2 か所の福井県指定鳥獣保護区において、鳥類相とその繁殖状況を調査した。定点調査により 2 か所でのべ 4 日間実施した結果、10 目 26 科 51 種の鳥類の生息を確認した。希少な種としては、ハヤブサの生息が確認された。鳥獣保護区における定期的な鳥類相調査は、行政上の必要性だけでなく生物多様性の長期的・広域的モニタリングの視点からも有益であり、今後も継続して実施していく必要がある。

キーワード：鳥類相，定点調査，鳥獣保護区

Fukui Nature Conservation Center *1. 2023. Results of the fiscal year 2022 bird census: Avifauna of wildlife protection areas in Fukui prefecture. Ciconia (Bulletin of Fukui Nature Conservation Center) 26:23-26.

We conducted a survey to study the avifauna and their breeding status at 2 wildlife protection areas in Fukui prefecture during the fiscal year 2022. In all 51 bird species (belonging to 26 families and 10 orders) were recorded at 2 sites over a period of 4 days by a spot-census survey. We then observed the inhabitation of rare species, including *Falco peregrinus*. Periodic avifauna surveys in the wildlife protection areas must be continued to provide administrative benefits and help in the long-term monitoring of biodiversity on a regional scale.

Key words: avifauna, point-census survey, wildlife protection area

はじめに

鳥獣保護区は、「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」(環境省 2015)にもとづいて、鳥獣の保護を図ることを目的として指定されるが、その指定、管理等を適切に行うために、既設の鳥獣保護区やその新規指定の候補地となる地域において、鳥獣の生息状況等を調査することが、環境省告示による「鳥獣の保護及び管理を図るための事業を実施するための基本的な指針」(環境省 2021)において定められている。

福井県では、ガンカモ類の生息調査(1969 年～)や渡り鳥保全調査(1977 年～)によって、県内における鳥類の生息状況を調査してきた。このうち、既設の鳥獣保護区等を対象とした集中的な調査が実施されている(福井県自然保護センター 1995a, 1995b, 1996, 1999, 2001, 2002, 2009, 2010a, 2010b, 2011, 2012, 2013, 2021)。本稿では 2022 年度に実施した渡り鳥保全調査事業の結果について報告する。

調査地と調査方法

調査は春季と秋季の 2 季に分け、春季は 2022 年 6 月 14 日および 6 月 27 日、秋季は 2022 年 9 月 30 日および 10 月 22 日に 2 か所で実施した(図 1 ; 表 1)。調査地点は、2023 年度に鳥獣保護区の指定期間が終了する地点を選定した。のべ調査日数は 4 日間であった。調査はスポット(定点)センサス法により、各地点 1 回約 2 時間程度の調査を実施した。調査スポット点数は調査地点ごとに 10 点であった。調査は野鳥の同定、観察に習熟した日本野鳥の会福井県の会員が分担して行った。調査の時間帯は鳥類が出現しやすい朝方とし、各調査地に設定したスポットで調査し、スポットからの距離は限定せず目視やさえずりなどで確認できた鳥類について、種ごとに個体数を記録した。さえずりや餌の運搬などの繁殖行動を確認した際は、その行動についても記録した。また、調査地点において確認された哺乳類も記録した。なお、鳥類の種の分類は「日本鳥類目録改訂第 7 版」(日本鳥学会目録編集委員会 2012)に従った。

* 執筆者・連絡・別刷請求先 (Corresponding author) : 五十川祥代 Written by Sachiyo ISOKAWA. E-mail: s-isokawa-d9@pref.fukui.lg.jp

1 〒912-0131 福井県大野市南六呂師 169-11-2

Minamirokuroshi 169-11-2, Ono, Fukui 912-0131, Japan.

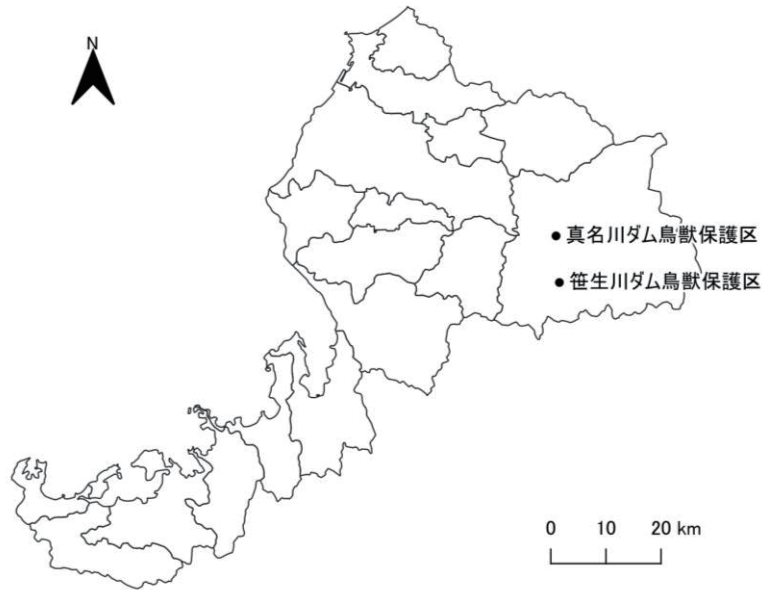


図1 調査地点の位置

表1 調査の概要

調査地名	3次メッシュ番号 [†]	緯度 [†]	経度 [†]	標高 [†] (m)	調査時期	調査年月日	調査者	スポット数(地点)	確認種数 [‡] (種)	春秋計 [‡] (種)	確認個体数(個体)	春秋計(個体)
真名川ダム 鳥獣保護区	53367403	35.919561	136.541267	380	春季	2022/6/14	三原学・五十川祥代	10	24		144	1124
					秋季	2022/10/22	三原学・五十川祥代	10	31	43	980	
笹生川ダム 鳥獣保護区	53366413	35.843460	136.547493	528	春季	2022/6/27	三原学・松村俊幸	10	29	32	132	182
					秋季	2022/9/30	松村俊幸・五十川祥代	10	10	50		

[†]3次メッシュ番号、緯度、経度、標高は各調査地におけるスポットのうちの1つを示した。座標はいずれも世界測地系。

[‡]「キツツキ類」「メボソムシクイ上種」など種が特定されていないものは確認種数に計上していない。

結果と考察

本調査により、10目26科51種の鳥類が記録され、繁殖行動が5目13科20種の鳥類で確認された(表2)。

本調査で確認された鳥類のうち、国レッドリスト2020(環境省2020)もしくは福井県レッドデータブック(福井県安全環境部自然環境課2016)の掲載種は以下のとおりである：

オンドリ *Aix galericulata* (国・情報不足, 県・絶滅危惧Ⅱ類), オオアカゲラ *Dendrocopos leucotos* (県・準絶滅危惧), サンコウチョウ *Terpsiphone atrocaudata* (県・要注目), サンショウクイ *Pericrocotus divaricatus* (国・絶滅危惧Ⅱ類, 県・要注目), ヤブサメ *Urosphena squameiceps* (県・要注目), ノスリ *Buteo buteo* (県・地域個体群[繁殖]), ミサゴ *Pandion haliaetus* (国・準絶滅危惧, 県・準絶滅危惧), ハヤブサ *Falco peregrinus* (国・絶滅危惧Ⅱ類, 県・絶滅危惧Ⅱ類), ヤマセミ *Megasceryle lugubris* (県・絶滅危惧Ⅰ類)。

これらのレッドリスト・レッドデータブック掲載種のうち、ハヤブサは「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(環境省1993)に基づき国内希少野生動植物種に指定されている。

また、本調査のうちすべての調査地点と調査時期で確認された種は以下のとおりである：

ヤマガラ *Poecile varius*, ヒガラ *Periparus ater*, シジュウカラ *Parus minor*, ホオジロ *Emberiza cioides*。

これらのすべての調査地点と調査時期で確認された種は本県ではほぼ周年観察される種であった(福井県自然環境保全調査研究会鳥獣部会1998)。

また、調査中に下記の哺乳類を確認した：

(真名川ダム鳥獣保護区)

ニホンザル, イノシシ, ニホンジカ。

(笹生川ダム鳥獣保護区)

ニホンザル, ニホンリス, アカギツネ, イノシシ, ニホンジカ。

本調査の調査回数は1調査地につき年2回のみであり、地域の鳥類相を十分に把握できる調査頻度ではない(大迫ほか1996)。また、種の識別や繁殖状

表2 各調査地における出現種とその確認個体数。数字に下線がある種はその調査地で繁殖行動が確認された種を示している。

目	科	和名	学名	調査地点と調査時期			
				真名川ダム鳥獣保護区		笹生川ダム鳥獣保護区	
				春季	秋季	春季	秋季
カモ	カモ	オシドリ	<i>Aix galericulata</i>			7	
カモ	カモ	マガモ	<i>Anas platyrhynchos</i>		74		
カモ	カモ	カルガモ	<i>Anas zonorhyncha</i>		20	1	
カモ	カモ	オナガガモ	<i>Anas acuta</i>		5		
カモ	カモ	コガモ	<i>Anas crecca</i>		157		
カモ	カモ	キンクロハジロ	<i>Aythya fuligula</i>		7		
カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	<i>Tachybaptus ruficollis</i>			3	1
ハト	ハト	キジバト	<i>Streptopelia orientalis</i>	<u>5</u>	2		1
ハト	ハト	アオバト	<i>Treron sieboldii</i>	<u>4</u>		<u>3</u>	
カツオドリ	ウ	カワウ	<i>Phalacrocorax carbo</i>	5		9	
カッコウ	カッコウ	ツツドリ	<i>Cuculus optatus</i>	<u>1</u>			
タカ	ミサゴ	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i>	3			1
タカ	タカ	トビ	<i>Milvus migrans</i>	2	4		
タカ	タカ	ノスリ	<i>Buteo buteo</i>			<u>2</u>	
ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	<i>Alcedo atthis</i>			2	
ブッポウソウ	カワセミ	ヤマセミ	<i>Megaceryle lugubris</i>			1	
キツツキ	キツツキ	コゲラ	<i>Dendrocopos kizuki</i>	4		2	
キツツキ	キツツキ	オオアカゲラ	<i>Dendrocopos leucotos</i>	1			
キツツキ	キツツキ	アカゲラ	<i>Dendrocopos major</i>		1		
キツツキ	キツツキ	アオゲラ	<i>Picus awokera</i>	4	7	3	
ハヤブサ	ハヤブサ	ハヤブサ	<i>Falco peregrinus</i>	<u>3</u>	1		
スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ	<i>Pericrocotus divaricatus</i>	2		3	
スズメ	カササギヒタキ	サンコウチョウ	<i>Terpsiphone atrocaudata</i>			<u>1</u>	
スズメ	モズ	モズ	<i>Lanius bucephalus</i>		2		
スズメ	カラス	カケス	<i>Garrulus glandarius</i>		9	7	13
スズメ	カラス	ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>	8	16	<u>3</u>	
スズメ	シジュウカラ	コガラ	<i>Poecile montanus</i>		1	2	10
スズメ	シジュウカラ	ヤマガラ	<i>Poecile varius</i>	5	3	10	10
スズメ	シジュウカラ	ヒガラ	<i>Periparus ater</i>	<u>4</u>	2	<u>3</u>	1
スズメ	シジュウカラ	シジュウカラ	<i>Parus minor</i>	<u>2</u>	8	<u>4</u>	3
スズメ	ツバメ	イワツバメ	<i>Delichon dasypus</i>	9		7	
スズメ	ヒヨドリ	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>	24	7	24	
スズメ	ウグイス	ウグイス	<i>Cettia diphone</i>	<u>12</u>	5	<u>5</u>	
スズメ	ウグイス	ヤブサメ	<i>Urosphena squameiceps</i>	<u>1</u>			
スズメ	エナガ	エナガ	<i>Aegithalos caudatus</i>	7			
スズメ	ムシクイ	メボソムシクイ	<i>Phylloscopus xanthodryas</i>		2		
スズメ	メジロ	メジロ	<i>Zosterops japonicus</i>	<u>9</u>	4	<u>2</u>	
スズメ	カワガラス	カワガラス	<i>Cinclus pallasii</i>	2	2		3
スズメ	ヒタキ	トラツグミ	<i>Zoothera dauma</i>			<u>5</u>	
スズメ	ヒタキ	クロツグミ	<i>Turdus cardis</i>			<u>2</u>	
スズメ	ヒタキ	ジョウビタキ	<i>Phoenicurus aureoreus</i>		1		
スズメ	ヒタキ	キビタキ	<i>Ficedula narcissina</i>	<u>2</u>		<u>6</u>	
スズメ	ヒタキ	オオルリ	<i>Cyanoptila cyanomelana</i>	<u>3</u>		<u>4</u>	
スズメ	セキレイ	キセキレイ	<i>Motacilla cinerea</i>	7	1	<u>6</u>	
スズメ	セキレイ	セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>		<u>3</u>		
スズメ	セキレイ	ピンズイ	<i>Anthus hodgsoni</i>		3		
スズメ	アトリ	アトリ	<i>Fringilla montifringilla</i>		604		
スズメ	アトリ	カワラヒワ	<i>Chloris sinica</i>		1		
スズメ	アトリ	イカル	<i>Eophona personata</i>	<u>4</u>	<u>3</u>	<u>2</u>	
スズメ	ホオジロ	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>	<u>11</u>	<u>15</u>	<u>3</u>	4
スズメ	ホオジロ	カシラダカ	<i>Emberiza rustica</i>		10		
キツツキ	キツツキ	(キツツキ類)	-				1
スズメ	ムシクイ	(メボソムシクイ上種)	<i>Phylloscopus borealis s.l.</i>				2

況について詳細に明らかにするためには、標識調査も含めた精密な調査が必要である(大迫 1989)。しかし本調査のように、一時期に複数地点で同じ方法で鳥類相を把握する調査は、局所的のみならず広域的な鳥類相を把握できる利点がある。特に鳥獣保護区のように、過去の知見が蓄積されている地域で定期的に鳥類相調査を行うことは、鳥類をはじめとする自然環境の長期的な変化をモニタリングする上で有益と考えられるため、今後も継続的に調査を実施していく必要がある。

謝辞

現地調査は、下記の方に実施して頂きました。ここに記して感謝申し上げます。(五十音順、敬称略)：三原学，松村俊幸。

引用文献

- 福井県安全環境部自然環境課(編). 2016. 改訂版 福井県の絶滅のおそれのある野生動植物. 福井県安全環境部自然環境課, 福井.
- 福井県自然保護センター. 1995a. 渡り鳥保全調査報告 1992 年度：鳥獣保護区の鳥類相 I. *Ciconia* (福井県自然保護センター研究報告) 4:1-8.
- 福井県自然保護センター. 1995b. 渡り鳥保全調査報告 1993 年度：鳥獣保護区の鳥類相 II. *Ciconia* (福井県自然保護センター研究報告) 4:9-16.
- 福井県自然保護センター. 1996. 渡り鳥保全調査報告 1994 年度：鳥獣保護区の鳥類相 III. *Ciconia* (福井県自然保護センター研究報告) 5:1-7.
- 福井県自然保護センター. 1999. 渡り鳥保全調査報告 1997 年度：鳥獣保護区・休猟区の鳥類相 IV. *Ciconia* (福井県自然保護センター研究報告) 8:1-8.
- 福井県自然保護センター. 2001. 渡り鳥保全調査報告 1999 年度：鳥獣保護区の鳥類相 V. *Ciconia* (福井県自然保護センター研究報告) 9:17-23.
- 福井県自然保護センター. 2002. 渡り鳥保全調査報告 2000 年度：鳥獣保護区の鳥類相 VI. *Ciconia* (福井県自然保護センター研究報告) 10:1-8.
- 福井県自然保護センター. 2009. 渡り鳥保全調査報告 2008 年度：鳥獣保護区の鳥類相 I. *Ciconia* (福井県自然保護センター研究報告) 14:1-9.
- 福井県自然保護センター. 2010a. 渡り鳥保全調査報告 2009 年度：鳥獣保護区の鳥類相 II. *Ciconia* (福井県自然保護センター研究報告) 15:1-13.
- 福井県自然保護センター. 2010b. 渡り鳥保全調査報告 2007 年度：鳥獣保護区の鳥類相 III. *Ciconia* (福井県自然保護センター研究報告) 15:15-22.
- 福井県自然保護センター. 2011. 渡り鳥保全調査事業 2010 年度：鳥獣保護区の鳥類相 IV. *Ciconia* (福井県自然保護センター研究報告) 16:1-9.
- 福井県自然保護センター. 2012. 渡り鳥保全調査事業 2011 年度：鳥獣保護区の鳥類相 V. *Ciconia* (福井県自然保護センター研究報告) 17:1-9.
- 福井県自然保護センター. 2013. 渡り鳥保全調査事業 2012 年度：鳥獣保護区の鳥類相 VI. *Ciconia* (福井県自然保護センター研究報告) 18:1-11.
- 福井県自然保護センター. 2022. 2021 年度渡り鳥保全調査事業報告. *Ciconia* (福井県自然保護センター研究報告) 25:21-26.
- 福井県自然環境保全調査研究会鳥獣部会(編). 1998. 福井の鳥とけものたち. 福井県県民生活部自然保護課, 福井.
- 環境省. 1993. 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(平成4年法律第75号).
- 環境省. 2015. 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律(平成14年法律第88号).
- 環境省. 2020. 環境省レッドリスト2020の公表について(令和2年3月27日付け報道発表資料). <http://www.env.go.jp/press/107905.html> (参照日2023年1月11日).
- 環境省. 2021. 鳥獣の保護及び管理を図るための事業を実施するための基本的な指針(令和3年10月26日環境省告示第69号).
- 日本鳥学会目録編集委員会(編). 2012. 日本鳥類目録 改訂第7版. 日本鳥学会, 三田.
- 大迫義人. 1989. 鳥類相調査における捕獲, ラインセンサスと定点観察の特性. *Strix* 8:179-186.
- 大迫義人・納村力・多田雅充. 1996. 福井県の丘陵地における鳥類相の効率的な調査日数と調査時期. *Ciconia* (福井県自然保護センター研究報告) 5:39-45.